

日本医療教授システム学会(JSISH)
2015年度第2回理事会議事録

開催日時:2015年8月14日(金)16:10~18:10

開催場所:東京大学本郷キャンパス医学部総合中央館 3F 310 会議室

出席者:池上敬一(代表理事)、浅香えみ子、井田雅祥、大西弘高、
鈴木克明(以上常任理事)、阿部幸恵、岩本由美、奥寺 敬、喜多敏博、
中村丈洋、三上剛人(以上理事)、高橋誠治、長坂 浩(以上監事)、
松木蘭和也(事務局長)、井上まゆみ、氏家康子(以上 CATS 事務局)、
仁田尾慶太(事務局)

欠席者:木村昭夫、石松伸一(以上副代表理事)、織井優貴子、軍神正隆、澤 智博、高村昭輝、
武田 聡、中島和江(以上理事)

会則 11 条 2 項により、池上代表理事を議長として開会した。

1. 議事録署名人の選出

岩本由美理事、三上剛人理事が選出された。

2. JSISH 組織の確認

1)顧問の廃止

顧問の山本保博先生と渥美和彦先生には名誉会員になっていただくこととし、顧問については廃止することになった。

お二人の先生には代表理事名でお礼状を書くことになった。

2)常任理事

前回理事会で常任理事が承認され、方針決定をスピーディーにするために設置されたことが説明された。

3)理事

会員の方から、ホームページに載っている理事の先生方は何の役割を担っているのか、会員に対してどうサービスができるかと質問があり、それを受けて、理事の先生には各々のアピールポイントを 140 字程度で考えていただき、学会 HP に掲載することとなった。

また、2017 年 3 月に役員改選となるが、それまでは現体制で運営する事が確認された。

4)米国事務局

米国事務局を置いているとホームページ上に掲載しているが、実態はないため、ホームページ上から廃止したいと提案があり、承認された。また理事に対して、連携した方がよい学会等があれば、提案してほしいと依頼がなされた。

2. 委員会報告

1)編集委員会(大西編集委員長)

医療職の能力開発 vol.3-2 が 7 月 21 日に発行されたと報告があった。また、現在の編集の進捗状況について報告があった。

2)倫理委員会(中村倫理委員長)

昨年発覚した不正投稿について、医療職の能力開発 vol.3-2 の巻末ページに公告として、今回の件について会員の皆様にお知らせしたこと、著者側には謝罪文の作成を求めていると報告があった。また今後の発生を防ぐために、倫理についての講習会の場を第 8 回総会で実施する

方向で検討することとなった。

3)教授システム開発委員会(池上代表理事)

ARCS セミナー、ISD 事例研究会について定期的開催していると報告があった。

日本シミュレーション医療教育学会と連携を図りつつ医療教育者認定制度(学習デザイナー資格)の運用を始めた。学習インストラクター資格制度の提案があり、対象者を医療系学生に広げ試験的な運用を始めることになった。

4)教育・トレーニング委員会(池上代表理事)

下部組織にNAEMT 小委員会、AHA ECC プログラム小委員会、JSISH コース小委員会と3つの小委員会が設置されているが、特に問題が発生していない為、委員会は開催していないと報告があった。

5)地域支部支援委員会(奥寺委員長)

支部はあくまで JSISH の外部組織であり、会計に関しても独立して運営することが確認され、コース運営に関する知識等を提供し協力する関係であると説明がなされた。

6)シミュレーションセンター運営委員会(池上代表理事)

アメリカのシミュレーションセンターの動向を把握しているメンバーを中心に委員に就任いただいており、現在活動は行っていないが、委員会には全国のシミュレーションセンターのカタログを他学会(日本シミュレーション医療教育学会等)と協働してまとめる、海外のシミュレーションセンター認定の要件(SSH など)を日本語に翻訳する、海外の要件とは別に、国内のシミュレーションセンターを認定する制度をデザインする、シミュレーションセンターでシミュレーション学習を支援するスタッフ・スペシャリストの資格認定制度をデザインするなどを依頼することとなった。

7)プログラム委員会(池上代表理事)

第7回総会の時に継続性を持たせることを目的に立ち上げた委員会で、総会会長と協力し大会のプログラムの策定を支援しており、現在は第8回総会のアイデアを検討中であると報告があった。

8)ファカルティ設置ワーキンググループ(浅香委員長)

ファカルティ制度について本理事会で審議することが依頼された(下記記載)。

9)会則委員会(浅香委員長)

委員会運営細則について本理事会で審議することが依頼された(下記記載)。

3. ファカルティについて(浅香委員長)

配布資料に基づき、本学会にファカルティ設置に関する提案がなされた。ファカルティ規則、来年第1回目のファカルティ会を開催すること、ファカルティの初回募集割合等の説明がなされ、審議の結果、規則を一部変更し、後日持ち回りにて再度提案し、審議することとなった。

4. 委員会共通運営細則について(浅香委員長)

配布資料に基づき、委員会共通運営細則について提案があり、審議の結果、一部を訂正することを前提に承認された。また、各委員会委員長に対して、各委員会運営細則を作成し、事務局宛に提出するよう依頼がなされた。

5. ビジョン改定について(池上代表理事)

ホームページに掲げている2015年に向けてのビジョン改定は、シミュレーション医療教育資格者制度とファカルティの選出制度を運営する事で達成が可能と説明がなされた。中期目標の「2020年に向けて」については、「アウトカム基盤型医療者教育の学習デザイン」が提案され、大

西常務理事に再度ビジョン改定の原案を作成してもらい、確認後に掲載することとなった。

6. Certified Healthcare Performance Instructor(CHPI)資格制度について(池上代表理事)

配布資料に基づき、日本シミュレーション医療教育学会との共同で認定を行う Certified Healthcare Performance Instructor(CHPI)について、現在の進捗状況、今後の作業について説明がなされた。資格認定については第三者評価機構(日本教育学習評価機構)を考えているが、クリアしなければならない点があり、引き続き検討を行うこと、デザイナー資格についてはJSISHではスタートし、日本シミュレーション医療教育学会共同で CHPI 制度策定ワーキンググループを立ち上げる予定であると進捗が報告された。

7. 第 8 回総会について(阿部第 8 回総会会長)

第 8 回総会の準備状況が報告された。

会 期:2016 年 3 月 3 日(木)~4 日(金) ※5 日(土)併設コース開催

会 場:東京医科大学病院・シミュレーションセンター

テーマ:専門職種間の思考と絆を学ぶ/教えるしくみ~多職種連携教育(IPE)の基盤をデザインする~

8. 第 9 回総会、第 10 回総会について(池上代表理事)

今後の学会総会について、第 9 回総会は岩本理事、第 10 回総会は大西常務理事に打診中であると報告があった。

9. 学会運営と予算について(池上代表理事)

配布資料に基づき、JSISH 主催のセミナーのフレームについて事務担当を NPO 法人救急医療の質向上協議会に委託していることや、金額設定、業務内容について説明がなされた。

10. KIDUKI コースの予算計上について(浅香理事)

配布資料に基づき、前回理事会で質問のあった KIDUKI コースの予算計上の根拠について説明がなされた。対象の KIDUKI コースのファシリテーターは全国に 19 名おり、試算をした結果、交通費 621,500 円、宿泊費 56,000 円、会場費 20,000 円、資料等準備費 5,000 円、会議飲料代 2,850 円の計 705,350 円であったと報告があった。予算計上した 50 万を超える金額については、航空券の早割等の手配を行い、差額分を対応する予定であると報告があった。

以上